

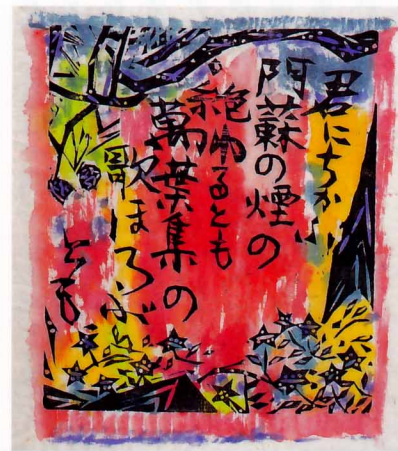
棟方志功展

歌と仏の世界



『二菩薩釈迦十大弟子板画柵』より「普賢菩薩の柵」
六曲一双屏風、パラミタミュージアム所蔵

『流離抄板画柵』『歌々板画柵』『大原寿恵子歌集抄板画柵』全柵84点を一挙公開



『流離抄板画柵』全31柵より「万葉の柵」
歌 吉井勇 大原美術館所蔵



『歌々板画柵』全24柵より「冬来の柵」
歌 谷崎潤一郎 大原美術館所蔵



『大原寿恵子歌集抄板画柵』全24柵、題3図、扉2回より「月光の柵」
歌 大原寿恵子 大原美術館所蔵

2009.4/26日～6/28日 会期中無休

開館時間: 午前 9 時30分～午後 5 時30分(入館は午後 5 時まで)

[入場料] 一般1000円(4枚セット券3,000円)、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料

特別協力 財団法人大原美術館

後援 NHK津放送局、三重テレビ、中日新聞社、伊勢新聞社

特別講演会 2009年5月31日(日) 14:00より「大原美術館と棟方志功」

財団法人大原美術館理事長 大原謙一郎氏

棟方志功展

歌と仏の世界

明治三十六(一九〇三)年、青森に生まれた棟方志功は、日本の版画界を代表する作家として活躍しました。その作品は日本の伝統芸術である板目木版画の持つ大画面の特性を生かした独自の表現的作風で世界的に高い評価を受けています。

柳宗悦をはじめとする民藝運動の先人たちから啓示を受けた棟方は、仏教芸術に深く傾倒し、自らの宗教的な感慨を表現しています。また生涯を通じて数多くの文人と交友のあった棟方志功は、歌人の歌に合わせた作品を制作しています。画面の中に描きこまれた文字は棟方の歌へのイメージに合わせて自在に表現され、それ自体が重要な絵の構成要素を成しています。今回は棟方志功の最大の後援者であった大原美術館の全面的な協力をいただき、仏の世界を描く大画面とともに、吉井勇『流離抄板画冊』、谷崎潤一郎『歌々板画冊』、大原寿恵子『大原寿恵子歌集抄板画冊』のそれぞれ全冊揃えを展示し、棟方志功の表す「ことばの美」への感性性を鑑賞します。



「二菩薩釈迦十大弟子板画冊」

六曲一双屏風 1939年 パラミタミュージアム所蔵
数ある棟方志功の仏教画の中でも、ヴェネチア・ビエンナーレ、サンパウロ・ビエンナーレでそれぞれ最高賞を受賞し、棟方の名を世界に知らしめた記念碑的な作品です。両端の二菩薩は屏風仕立てのために追加されたものですが、戦災で版木が焼失したため、1948年にこの2体のみが改刻されています。

「歌々板画冊」全24冊 1956年 歌 谷崎潤一郎 大原美術館所蔵

谷崎潤一郎(1886-1965)の連載小説『鍵』の挿絵板画「鍵板画冊」を制作した棟方志功は、その年、谷崎潤一郎の和歌24首をテーマに板画を制作しました。谷崎の歌は住まいしていた京都の風景を詠んでおり、耽美派といわれた谷崎文学の一面を垣間見せています。しかし谷崎自身は棟方の板画のすばらしさを讃えるとともに、板画のお陰でへたな自分の歌もよくなったようだと謙遜していたといえます。



「聞虫の柵」



「袖散の柵」



「深々の柵」



「天狗の柵」

「流離抄板画冊」全31冊 1953年 歌 吉井勇 大原美術館所蔵

吉井勇(1886-1960)は伯爵家に生まれ、歌人、脚本家として活躍しました。この作品は棟方からの歌を板画にしたいとの申し入れに応じて、吉井自身が自らの作品を選んで与えたものです。吉井と棟方はともに戦争中東京を離れてそれぞれ北陸に疎開生活を送っており、吉井の歌集『流離抄』はその間に詠まれたものでした。吉井は棟方ならここに詠われた落莫感に分かるであろうといったことです。棟方は大声でこれらの歌をうたいながら制作していました。



「一人想ふの柵」



「立つ子の柵」



「雨庭の柵」

「大原寿恵子歌集抄板画冊」全24冊、題3図、扉2図 1959-62年 歌 大原寿恵子 大原美術館所蔵

大原寿恵子(1883-1930)は大原美術館の創設者大原孫三郎の妻でアララギ派の歌人として知られています。この板画冊は子息大原総一郎の依頼で故人の33回忌に合わせて棟方志功が歌に板画をつけたものです。全24冊は『大原寿恵子歌集』より、大原と棟方がそれぞれ12首ずつ歌を選んで制作されました。

次回展覧会

第4回パラミタ陶芸大賞展
2009年7月1日(水)~8月16日(日)

恒例となったパラミタ陶芸大賞も第4回目を迎え、来館者による投票という大賞選考方法もすっかり定着しました。本年も全国の美術関係者の推薦により現在活躍中の6名の陶芸作家がノミネートされました。
出品作家 小塩薫(岐阜)、金重巖(岡山)、岸映子(京都)、清水六兵衛(京都)、鈴木卓(岐阜)、長江重和(愛知)

MAPLODE
566359095



交通機関

- お車をご利用の場合
東名阪四日市I.C.で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km
無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車可)
- 電車をご利用の場合
近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m
全館バリアフリー、車椅子常備